

総明会会報

発行
明治中学・高等学校同窓会
〒101 千代田区猿樂町2-4-1
明治大学付属明治高等学校内
TEL (03) 296-4555
発行人/専務理事大場隆之
編集/昭和38年卒同窓会

五十一年開催の第
二十回総会で命名さ
れた。初代校長の鶴
沢総明先生のお名前
をいただき、かつ明
中高同窓会と同窓生
の総体の連帯を意味
するものである。

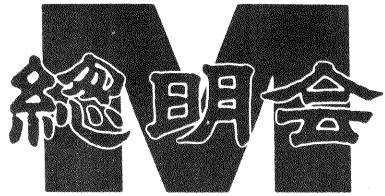
第26回総会のお知らせ

11月16日(金)午後6時より開催

神宮の森

明治記念館でお待ちしております

奥様もご一緒にどうぞ



平成2年の総明会(同窓会総会及び懇親会)のホスト学年は昭和38年卒業の「二年に一会」が務めさせて頂きます。伝統ある明治中学、高校同窓会の名を辱めぬよう運営に当たりたいと思ひますので、ご協力のほどよろしくお願い致します。本年は、会場も同じ「明治」である明治記念館(JR信濃町駅下車徒歩3分、03(403)1171)の富士の間で行います。「質実剛健」「独立自治」の校訓に青春時代を過ごした同窓生も1万人を越え、会も充実の一途をたっています。これを機に新旧の同窓が母校明治の思い出に浸り、ともに酒を飲み交わし、しばし交歓のひとときを過ごしたいと思ひます。当日は楽しいゲームなども企画中でございます。何卒ふるってご参加くださるようお願い致します。なお、ご同伴も大歓迎、奥様もご一緒にどうぞ、お待ちしております。

一、日時 11月16日(金) 5時半開場 6時開会

一、場所 信濃町・明治記念館 富士の間

一、会費 10,000円
(同伴者5,000円)
(現役学生7,000円)

総会

- 一、開会の辞 小林副会長
- 一、会長挨拶 坂本 会長
- 一、会務報告 大場専務理事
- 一、会計報告 二村会計理事
- 一、監査報告 館野監査
- 一、議事 議長大場専務理事
- 役員改選の件
- 一、来賓祝辞 金井明治高校校長
後藤明治大学理事長
島田明治大学総長
- 一、閉会の辞 卯木副会長

懇親会

- 一、開会の辞 三浦昭生
- 一、乾杯 片岡名誉会長
- 一、歓談
- 一、ゲーム
- 一、来期ホスト学年紹介(39年卒)
- 一、校歌斉唱
- 一、閉会の辞 山崎常務理事

会場のご案内

明治記念館
〒107 東京都港区元赤坂2-2-23 TEL.03-403-1171代
JR(中央・総武線)信濃町駅下車徒歩3分
地下鉄(銀座線・半蔵門線)青山一丁目下車徒歩6分
都バス何れも「権田原・明治記念館前」下車徒歩1分
(田70)新宿駅西口 田町駅東口(097)品川車庫前 四谷駅

明治中学校校歌

一、帝都の真中 駿河台
遙に望む 富士のねの
高き理想の 影追いて
集る健児 いさましや

二、学びの高嶺 文の海
峻しく荒き 行末を
憶れず笑みて進みゆく
我等が意気は天を呑む

三、忠と孝との六糸を
色どる正義 愛 誠
我等が胸をかざるべき
大和錦の美ならずや

四、世界に王たる日の本の
国民の基と身をなして
我等が校の名を掲げむ
我等が校の威を掲げむ

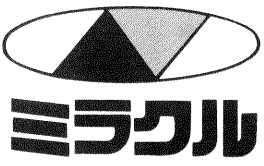
校歌

児玉花外 作詞
山田耕作 作曲

一、白雲なびく駿河台
眉秀でたる若人が
撞くや時代の暁の鐘
文化の潮みちびきて
遂げし維新の栄になふ
明治その名ぞ吾等が母校
明治その名ぞ吾等が母校

二、権利自由の揺籃の
歴史は古く今もなほ
強き光に輝けり
独立自治の旗幟し
高き理想の道を行く
我等が健児の
意気をば知るや

三、雲峰不二を仰ぎつつ
刻苦研鑽他念なき
我等に燃ゆる希望あり
いでや東亜の一角に
時代の夢を破るべく
正義の鐘を打ちて鳴らさむ
正義の鐘を打ちて鳴らさむ



MIRACLE DOG FOOD



幼犬用 成犬用 肥満用

発売元



田辺製薬株式会社

販売元



株式会社ニチドク

03(694)2710

37年卒
38年卒

吉田信行
増田利明

総明会に寄せて

総明会を改めて考える

総明会会長

坂本 朝一



昨年は総明会創立二十五周年で、その後を受けての今年も別の意味で大変だと思えますと言うのは、昭和が終わる平成となり、今上陛下の即位式が行われ、大嘗祭もあり、そういう中で、総明会とは、改めてその意味合いをお互いに考えるべきではないでしょうか。

私は今、国際演劇協会日本センターの会長を勤めている、しかも今年の六月一日付けで社団法人の資格を得て、一層重い責任の上に立っている。一口に国際演劇協会と言ってもその中身は、国際協力、国際親善、国際理解と多方面に渡る責任を担うことになり、いささか力不足をかこっている次第だが、御承知のヨーロッパ情勢、中近東、さらに中国、東南アジア、南北アメリカ、ソ連、更にアフリカ、どの地方を取り上げても、日本を理解させ、先方を理解することの難しさ、会員諸氏の御想像にかたくないところだと思う。しかし、教育という見地から言っても、この仕事はお役に立つのではないかと考え方を持っている、会員諸氏の格

段の御理解を得たいと思って、あえて触れさせて頂いた。

さて、その教育という見地から言えば、先般知らされた、神戸の高校で行われた、遅刻生徒に対する処置として、門扉を閉めて、生徒を死なした話、これは驚かされた話はない。先生が、遅刻の生徒を学校に入れないと、時計を見ながら扉を押したとのこと、これが教育なのか。

私が旧制の明治中学の二年だったか、三年だったか、当時軍国主義が台頭して来た頃で、生徒にワイシャツを着ることを禁じた。何故、ワイシャツがいけないのか、ワイシャツを着るとすると詰襟の襟の鍵ホックを外してだらしない見えると言ふことらしい。もっとも多少不良染みた青少年がそうし勝ちだったことも確かではあったが、何が何でも禁止する程のことであつたかどうか、議論なしとしない。ところで、小生が、実はこのワイシャツを着て、但し襟元の鍵ホックはちゃんとして登校したのだけれど、その日の教練の時間に配属将校の目に止まり、いきなり私の所へ来て、小生の腕の袖口から少し出ているワイシャツの端を引っ掴んで、これはなんだとばかり力一杯引っ張った。途端にワイシャツの袖口に将校の指の穴が開き、ビリビリと破けた。

(終)

その配属将校は当時の階級で陸軍少佐、中学に勤めていた将校は退役大尉で「ハチヤン」と言うあだ名で親しまれていた年配の方だったが、陸軍から配属されている将校は「ハチヤン」より年は若い位は一つ上の少佐、それだけに、私を懲罰することの意味が、それだけでなく、先輩退役大尉への警告であったのかも知れない。考えれば嫌な時代。少年だった私は家へ帰って事実を報告できず、母親を騙して、その後普通のシャツにして貰ったりした。こんなことが中学の思い出として未だに浮かんで来ることは悲しいと思う。遅刻の生徒の首を締めてでも扉を閉じる教育だけは我が明治中学、高校では無いことを祈る。どうか皆さん今日も教育を論じ、日本を語り、そして音楽に合わせて一夜歌ったり、踊ったりしようではありませんか。

経歴

大正6年3月28日生
昭和8年3月旧制明治中学4年終了、昭和8年4月第一早稲田高等学校入学、昭和14年3月早稲田大学文学部英文科卒業
昭和14年4月、日本放送協会文芸部採用、文芸部長、編成部長、芸能局長を経て、昭和46年4月理事放送局長に就任、専務理事副会長を経て、昭和51年9月会長就任、昭和57年7月会長退任
現在は、日本放送協会名誉顧問、国家公安委員会委員、日本赤十字社常任理事、(社)国際演劇協会会長のほか、科学技術庁顧問、国語審議会会長、横綱審議委員会委員等々、多くの名誉職在任中。

明治大学理事長

後藤 信夫

明治大学総長

島田 正郎

明治大学学長

木村 礎

明治中学・高等学校

校長

金井 照治

〒184東京都小金井市梶野町一―九一七
〇四二二(五二) 四八三五

明高柔道部OB会

相談役

昭和三〇年卒 福田 二郎

昭和三二年卒 佐藤 康明

昭和三三年卒 田中 章雄

顧問

昭和二八年卒 君塚 美明

昭和三五五年卒 大村 勝利

昭和三六六年卒 鳥海 又五郎

会長

昭和三八八年卒 小川 洋一

副会長

昭和三七七年卒 中谷 捷治

昭和三八八年卒 井上 和洋

昭和三九九年卒 中野 一郎

幹事長

昭和三九九年卒 中本 義行

幹事

昭和三九九年卒 佐々木 隆夫

昭和四二一年卒 中島 平人

昭和四二一年卒 金子 淑夫

昭和四二一年卒 市倉 務

昭和四四四年卒 今井 振二

昭和四四五年卒 加藤 木裕司

昭和四六六年卒 長野 克彦

昭和四八八年卒 浜本 義典

昭和五〇年卒 近藤 吉彦

昭和五一年卒 小山 美津男

昭和五二年卒 大谷 晴彦

財団法人 東京都柔道連盟

昭和三〇年卒

専務理事 福田 二郎

〒112東京都文京区春日一―六―三〇
電話 〇三―八一―八五五三
FAX 〇三―八一―八五五三

一般木材販売及造作工事

木材問屋

丸丸水商店

昭和三八八年卒

取締役社長 小川 洋一

昭和四一年卒

専務取締役 小川 秀次

〒136東京都江東区新木場一―九―一六
電話 〇三―五二―八八〇二
FAX 〇三―五二―八八〇三

昭和四五年卒

松本 勝彦

〒110台東区入谷一―六六七―〇四

斎藤 富士雄

〒156世田谷区桜一―三―一

加藤 木裕司

〒300―12茨城県牛久市

野島 和博

〒135江東区森下四―二二―九

三角 彰義

〒130墨田区緑一―二二―八

関口 恒雄

〒116荒川区南千住一―四〇―二

荒木 潔

〒164中野区弥生町三―三〇―一

昭和三三年卒

雄和企画株式会社

代表取締役

田中 章雄

〒105東京都港区東新橋一―二―十一
三陸ビル TEL 〇三(五七)二七三七

昭和三九年卒

娯楽の殿堂 みとやホール

喫茶・パブ・「山の音」

代表取締役

中野 一郎

部長 佐々木 隆夫

東京都台東区竜泉三―二―一四
TEL 〇三(八七五) 二六二一

昭和三二年卒

株式会社 丸吉技販

代表取締役

佐藤 康明

〒101東京都千代田区神田雑司町六
TEL 〇三(二五二) 八四二一

タウンショップイノウエ

昭和三八年卒

井上 和洋

〒272千葉県市川市八幡四―六―一八
電話 〇四七三―三四―四六二四

株日本工業検査

昭和三九年卒

中本 義行

〒340埼玉県草加市青柳四―九六―二
電話 〇四八九―三六―六八四八

昭和三七年卒

中谷 捷治

〒157世田谷区北島山一―三八―八
電話 〇三―三三―八八七五

昭和四八年卒

四国商事株式会社
濱本 義典
〒165東京都中野区新井一―五―一二
TEL 〇三(三八六) 五六六四
FAX 〇三(三八六) 七六一九

総明会に寄せて

総明会の発展を期待

学校長

金井 照治



この学校では、秘策を練り上げてこれを乗り越えるのに備えているわけであります。

本校でも、明治大学の付属であり一貫教育体制の実施という有利な条件をもつものの、多様化した父母の教育に対する期待にどのように応えていかなければならないか、われわれ教職員

の英知が求められています。このところ入学する生徒のレベルも向上していますが、生徒のマンネリ化の除去のためにも活動的で「やる気」のある生徒を求めて今春より中学の入試日を2月3日に変更しました。高校では、入試科目を5教科から英、数、国の3教科とし基礎学力の充実した生徒を受け入れる試みをしました。

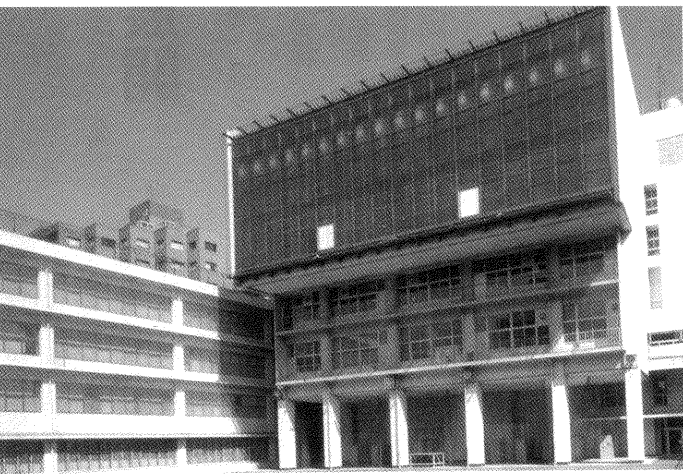
中学の一年生では、すでによい兆しがみられるようですが、経

年の結果を分析して今後の改善の資料にしたいと考えています。

現代の社会は、著しく多様化し個性豊かな人材を求めています。また、明治

大学の学部からも学力に特徴のある生徒の推薦を要望されてい

ます。今回の教育課程の改訂は、これら社会の要請に



明治中学校、明治高校校舎

助として、商学部・経営学部の各2名のOBにご協力を願って講演会を行ない、学部の専門とする分野・講義内容・研究の実態・将来への進路など体験を通して学部紹介をして頂きました。

一方で現実的で真剣に学問に取り組む必要性も後輩への檄として頂き、事後の生徒の感想文の中に学部選択の大きな手掛りを得た喜びが示され大変に成果の大きい催しとなりました。

残る学部についても強い生徒の希望から後日実施する予定であります。この件については、方法、効果など十分に吟味をして今後の在り方を探ってみたいと思います。

教育の現場は、停滞はできません。社会の教育に対する要望が大き

く、厳しい批判があります。私共教員は、研鑽を積み、識見を高め、人間的な修業を重ねて教師としての尊厳と信頼を備えていく必要があります。そして、人間性に富み学識の豊かな卒業生を総明会に加えて頂く努力をしていかななくてはならないと思います。どうか、今後とも学校へのご協力をお願い申し上げるとともに総明会の一層のご発展を心から期待いたします。

以上

経歴 (本校分のみ)

- 昭和35年4月 高等学校教諭
- 昭和55年4月 中学校教務主任
- 昭和57年4月 中学校教頭
- 昭和59年4月 高等学校教頭
- 平成2年4月 高等学校・中学校校長

生年月日
昭和5年8月15日 (60歳)

昭和九年卒業

総明会会長

NHK名誉顧問

国家公安委員

坂本朝一

〒215川崎市麻生区上麻生二三四二四
〇四四(九八八)九三六六

昭和二十六年卒業

明治大学野球部助監督

明球会会長

明治高等学校野球部監督

卯木敏夫

〒116東京都荒川区西日暮里
六五一三

〇三(八〇〇)六一〇〇

昭和二十二年卒業

小林昭雄

〒248台東区柳橋一六六一
(八六四)四八三〇

昭和二十三年卒業
株式会社大西静商店

大西新一

〒101千代田区岩本町二一〇二
八六六〇九七

昭和二年(第十一回)卒業

明士会

〒113文京区千駄木三二六二二
野玉方
八二一〇七五三

昭和十七年卒業

明中一七会

代表 卜部芳郎

昭和二十六年卒業(猿楽会)

会長 卯木敏夫

副会長 小林明

会 計 齊藤英二

事務局 熊井実

事務局長 武政芳則

事務局連絡先
〒101千代田区神田岩本町一
岩本町ビル73号 武政方
二五六一八〇七九

二九會
會長 矢島偉行

OB會
副會長 山本巖

朝比奈四十一

倉田秀夫

阿出川弘

大橋成光

山本峰司

連絡先
〒102新宿区納戸町一五
二六〇一六六九

昭和三十年卒業 同期会

會長 大場隆之

副會長 伊藤寿

八十島庸郷

西秋忠男

田村正彦

中瀬裕

中堀茂

石田彰之

昭和32卒

明治会

昭和32年卒(明治会)

総明会常務理事

山崎敬生

〒272 市川市平田1-18-8

0473(26)1650

昭和三十六年卒(明駿会)

會長 加藤真義

副會長 谷正之

向殿政夫

山田和男

會計 加藤真義

〒116荒川区西尾久四一四二二
瓦(八九四)六三三二

川口明高会

川口市在住

卒業生一同

平成元年度活動報告

組織力で事業を展開

専務理事 大場 隆之

言うまでもありませんが、総明会の目的とするところは、母校に学んだ同窓会員が結集し、会員相互の親睦を図り、さらには実業の場において会員相互の協力関係を深め、あわせて母校の発展に寄与していくということです。

現在、本会の活動は事務局長のS.32山崎敬生常務理事を主幹に、総務部(S.31伊藤茂雄部長)、組織部(S.36向殿正男部長)、事業部(S.38三浦昭生部長)、クラブOB部(S.36矢島芳郎部長)の各部門長の統括のもとで、円滑にその活動がすすめられております。

総務部では、会員登録の電算化と通信事務の迅速化が図られており、組織部では、同期会発足にあたっての助成、母校に対する協力関係等、事業部では、会員相互の交友・親睦を深めるための催し、クラブOB部では、各クラブOB会と連携をとっての組織強化策等に、いずれも活発です。

また、かねてからの懸案でありました総明会専従職員のことですが、今回、PTA(矢野進会長)のご協力を得ました。PTA職員の方へ委託することになりました。会員各位には、これまで何かとご不便をおかけしておりましたが、これにより通信、連絡業務など「同窓会窓口業務」の一層の円滑化が図られるものと考えます。

なお、以下に、平成元年度の主な事業活動を掲げておきます。

◎ 第25回総会 37年卒同期会の担当で、11月17日(金)、ホテル国際観光に、三〇〇余名の参加者を見て盛況のうちに閉幕、「明大マンドリンクラブOBクラブ」の演奏と豪華賞品によるくじ引きに、新・旧いずれの会員からも人気を博し、好評裡に終了しました。

◎ ご勇退先生へ謝恩品贈呈 総会当日、平成2年3月末日付でご勇退される松枝正弘、三田行男、山本広之の3先生に、感謝状と記念品を贈呈しました。

また、保坂吉彦校長が健康上の理由で突然ご退任されることになり、本会では3月25日、先生に謝恩の品をお届けしました。

◎ 第1回総明会海外親睦ツアー「ソウル・済州島の旅」 事業部の企画により、4月16日、19日の3泊4日で実施され、有志による初の試みは好評でした。

◎ 総明会評議員会 期間中の開催は通算5回。

※明高関連の報告事項

◎ 新校長に金井照治先生 保坂吉彦校長が平成2年3月末日をもって任期を終え、退任されるのにもない、4月1日付けで新校長に金井照治先生が就任されました。

◎ 明高行事への参加 4/6入学式、4/20教職員に対する

謝恩品贈呈、10/10体育祭、11/4文化祭、2/26新入会員(高3卒業生)のための説明会、3/10卒業式等に、正副会長並びに現役役員が参加しました。

◎ 恩師計報

田村晴彦教諭 平成2年5月17日ご逝去(享年43歳)、昭和44年より在職22年、国語科、生徒指導等主任を歴任、特に同窓会役員として長らくご尽力いただきました。

松枝正弘教諭 平成2年6月13日ご逝去(享年62歳)、昭和23年より42年間在職され、本年3月定年退職、体育科、生徒指導主任等を歴任、同窓会に対しては多年に亘り陰に陽にご支援をいただきました。

平成元年度 会計報告

総明会会計 二村 昌也

今年度は総明会と学校側とのパイプ役でご苦勞された同志田村先生の逝去に続き、人間教育の誉れ高い松枝恩師の逝去、そして大学側の要請に答え、学力の向上に貢献した保坂明高校長の勇退、金井新校長の誕生など波瀾の一年でした。そういった中で、総明会も組織強化の為に同期会発足に対する助成を行ったり、会員相互の交流と協力関係を一層促進する為に、事業部が中心となって、種々の企画をたてて活動してまいりました。しかし、各年度の年会費の納入が滞っているなど、同窓会に対する会員の意識の低下が悔やまれます。どうか学年幹事の皆様はもう一度会費の納入がなされたか、確認下さる様ご協力お願い致します。

昭和四十一年卒

四一明友会

会長 亀井 肇
代表幹事 菊池 博道

美家古

亀井 肇

〒131墨田区向島五―三―五
六二二―三三〇五

(株)豆幸木下商店

木下良一

〒130墨田区錦糸二―三―十一
六二五―三八四八

美津和食品

菊池 博道

〒110台東区下谷三―四―五
八七二―五四二七

(株)マツダサービス
日本ダンロップゴルフ用品代理店
営業部長
岩崎 孝雄

〒272 01浦安市北栄四―一―二五
浦安マツダビル
〇四七三―五〇―八八〇〇

(有)中商

安中新吾

〒111台東区橋場一―八―五
八七一―二三三六

レストランキングステーブル

大沢 富次

〒116荒川区南千住七―三―十六
八〇二―四一二〇

(株)吉村商店

吉村 竜郎

〒135江東区平野一―二―一六〇一
六四二―〇一五六

(株)丸石家具
成田支店

江連 光明

〒286成田市並木町二―九―十
〇四七六―二三―一二八一

たち花や

橘 知紀

〒158世田谷区玉川四―三四―九
七〇九―一六三一

藤川商店

藤川 靖夫

〒104中央区八丁堀二―十六―四
五五一―七七六四

三徳印刷

尾島育四郎

〒150渋谷区神宮前五―四二―一五
四〇〇―二九五―一

カレーショップチャプス
カレー他ボージョーライス

藤川 靖夫

〒104中央区八丁堀二―十六―九
五五一―八八四三

(株)巴湯
企画

川越 豊統

〒130墨田区両国二―十七―六
六三五―三〇一四

菊本紙業

菊本 哲也

〒130墨田区千歳二―十四―七
六三一―〇三六六

(株)丸水商店

小川 秀次

〒130墨田区江東橋一―四―十三
六三三―四四七五

(株)三越銀座店
外商九課

木島 孝

平成元年第25回総明会総会後記

楽しいことばかり思い出される

昭和37年卒 福島 啓充

総明会の皆様、益々ご清栄のことと御慶び申し上げます。さて、時よ止まれ、と叫びたくなるほど時の過ぎるのは早いもの。私も昭和37年卒が当番学年として、会報の作成や総会の運営のためバタバタした時から一年がたつてしまいました。その折には明治高校総明会本部の方々、また会員の皆様には無理なお願いをし、我がままも言つてご迷惑をおかけし、37年卒一同申しわけなく、また深く感謝申し上げる次第です。当番学年だといわれたされた時には、面倒なことだと思つたのですが、今思い返してみると楽しいことばかりが思い出されます。懐かしい顔が集まり、各々の役割を果たしました。真面目で細かい中村哲士君が会計担当、真面目でしつこい石井嘉一郎君が広告担当、真面目で強

引な吉田信行君が会報担当、また仕事を生かして印刷、連絡が長棟良元君、総会運営が小林敏朗君、アトラクションでは、明大マンクラの部長だった大塚功君、参加者に配り喜ばれた明治のデザイン付の革バンドは森瀬啓太君、口は出さずにお金と名物の大師だんごを出してくれた中田貢弘君等々、名前を上げればきりがありませんが、20数名がまことに良く働いてくれました。今年は38年卒の諸君が担当で汗を流してくれます。忙しい中を大変でしょうが頑張ってください。一生に一度のことなのでこれから各学年が特色を生かし、楽しくやればよいのではないのでしょうか。総明会の益々の発展と総明会総会の成功を心より御祈り申し上げます。

11月16日の総明会総会にご出席予定の先生方（現役）

明中・明高（現役先生方）
金井 照治先生（理科）
清水 紀夫先生（数学）
村野 圭吾先生（英語）
後藤 朋智先生（理科）
山田 伸夫先生（数学）
小西 哲男先生（体育）
西原 春雄先生（英語）
田中徹太郎先生（社会）
栗野 哲也先生（社会）
山脇 信彦先生（理科）
田村 孝廣先生（理科）
水落 八郎先生（体育）
川瀬 孟俊先生（英語）
木村 雄治先生（英語）
大野 正隆先生（英語）
雨宮 芳久先生（理科）
〔ほか退官なされた先生方も多数ご出席の予定です〕

総明会平成2年度 予算（案）

（自）平成2年4月1日～（至）平成3年3月31日

収入の部		支出の部	
前年度繰越金	2,725,470	第26回総会経費	2,500,000
第26回総会々費	2,500,000	第16号会報経費	2,200,000
第16号会報広告代	3,000,000	会議費	700,000
平成2年度分年会費	400,000	通信費	1,000,000
新会員入会金	1,300,000	事務・印刷費	400,000
		公用費	500,000
		基金積立	2,500,000
		予備費	125,470
合 計	9,925,470	合 計	9,925,470

総明会平成元年度会計報告

（自）平成元年4月1日～（至）平成2年3月31日

収入の部		支出の部	
前年度繰越金	2,184,233	第25回総会経費	2,714,469
第25回総会々費	2,695,000	第15回会報経費	2,879,707
第15回会報広告代	3,599,176	会議費	293,874
平成元年度会費	335,000	通信費	897,600
新会員入会金	1,330,000	事務費	367,064
雑収入	93,842	公用費	355,335
		雑費	3,732
		次年度繰越金	2,725,470
合 計	10,237,251	合 計	10,237,251

上記の通り報告いたします。
平成2年3月31日
会 長 坂本 朝一
会 計 二村 昌也
同 服部 雄二

監査の結果相違ありません。
平成2年3月31日
監 査 館野 春男
同 新井 久雄

昭和四十年卒 ライカショップモンアミ 三浦英世 〒178練馬区東大泉五―三六―一七 TEL〇三（九二一）五六二二	昭和三十二年卒（明治会） 株式会社 高文 高橋達三 〒101千代田区内神田三―四―八	木材問屋 南丸三商店 代表取締役 渡辺徹郎 専務取締役 渡辺 治 〒136江東区新木場一―六―二六 TEL（五二一）四一〇三代 FAX（五二一）四一〇五	株式会社米山富次郎商店 米山耕右 米山廣昭

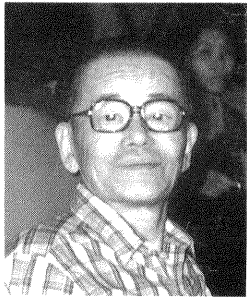
昭和四十四年卒 男坂クラブ
服部 繁二
原田 等
田中 雄
松本 和
小川 滋
小暮 一
大導寺 幸雄
岩中 善美
家谷 芳久
関谷 慎二
鹿島 一郎
栗田 茂郎
小川 吉夫
北川 恒一
佐伯 実夫
望月 正
中河 昇
中村 孝樹
中田 康正
寺山 憲一
福山 徹
春橋 任
高橋 夫
鎌田 真次
毛塚 幸夫
鈴木 雅光
秋山 勝史
関野 雅章
阿久 沢
稲垣 秀
三上 嗣
富川 雅
諏訪 勝
大木 明
上江 満
木村 満

明卓OB会 会長 昭和三〇年卒 宇田川雄弘	副会長 昭和三〇年卒 西村 昭	副会長 昭和三四年卒 小林 功明	副会長 昭和三七年卒 倉島 孝夫	幹事長 昭和三八年卒 高橋 正佑

永遠に語りつがん

伝説の人間教育

松枝正弘先生 逝去



明治大学付属明治高等学校元教諭、松枝正弘氏は、平成2年6月13日 午後8時38分千葉県浦安市で、心不全の為死去されました。6月15日仮通夜、6月

16日密葬に1200名 6月30日には、新宿区千日谷会堂にて本葬(喪主 松枝弘樹・葬儀委員長 卯木敏夫・実行委員長 伊藤寿)が挙行され親族はじめ、明治大学島田総長、明治高等学校金井校長、諸先生、卒業生、学生、関係者各位等1800名が会葬した。約2時間に及ぶ葬儀、焼香の後、総明会旗、応援団旗の下で、校歌、部歌が高らかに斉唱された。テープによる

最後の思い出

“チーターを送る会”

平成2年3月8日 ホテルグランドパレスに於いて実行委員長山崎敬生 事務局長服部雄二を初めとするOB並び関係者各位580名が出席し、“チーターを送る会”が盛大に催された。この会は本年3月をもって退職された松枝先生の42年間の教職生活に対する感謝の意を教員が歓送会として祝ったものであった。

先生は卒業生を前にして、壇上で約20分間立ったまま熱弁を振るった。立ち続けることが相当に苦しかった時期であった筈なのに、毅然とした態度を最後まで守り通し、「何と人の心の貴さよ、何と人の心の暖かさよ、こういうものを私の人生に与えてくださった卒業生、PTA、会場の皆様に感謝申し上げますま

す」という私どもにはもったいない言葉が始まった話は現在遺言となった。また、会の終了後出席者全員は明治を愛し続けた師と握手で一人一人惜別の時を刻んだ。今思うと数カ月後を予期したかのよう。



“チーターを送る会”で夫人と並んで熱弁

千日谷会堂で1800名がお別れ



千日谷会堂で校歌でお別れ

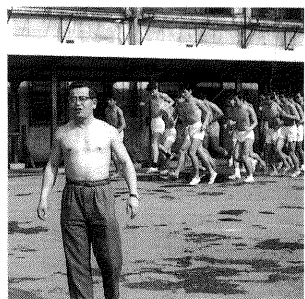
生前の師の聲が会場に流れると、茫然と立ちすくみ涙する者が多く、去ろうともしない卒業生生徒達の姿が印象的だった。密葬、本葬と延べ3000名以上のの方々に葬送をうけられたということは、一高校の教師としては、前代未聞であり、これは故松枝正弘先生の生前、長年に亘る熱心な教育活動の賜と考えられる。故人は昭和24年4月明治高等学校に正教員として就任し、翌月にはすぐバレーボール部を創設し、本年退職するまで42年間も部長先生を務め、その間輝かしい成績と日本代表選手、当問氏等多くの名選手を生んだ。その教えはバレー部に限らず赤十字、

故 松枝正弘先生経歴

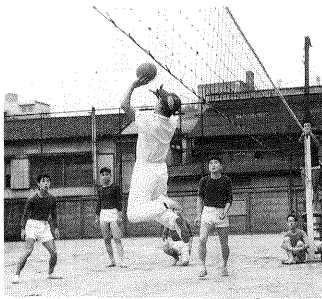
昭和3年5月2日 東京都新宿区鶴巻町で出生
昭和24年3月 東京体育専門学校 現筑波大学体育学部卒業
明治大学明治高等学校教諭
バレー部設立
明治大学政治経済学部卒業
東京都中学バレーボール秋季大会優勝
国体が分けて開催 教員の部で東京代表に選出
後藤好子(たかこ)様と御結婚
バレーボール部東京代表でインターハイに出場 準々決勝に進出 同年秋 川崎国体へも出場
長女 栄子さん出生
長男弘樹さん出生
東京オリンピック準備委員
東洋の魔女優勝の東京オリンピックバレーボール競技委員アリーナ放送主任を担当し第一位日本 第二位ソビエト 第三位ポーランドのアナウンスをする
日本キャンピング連盟より教育研修団の副団長として渡欧
東京都青少年赤十字高校研究部長に就任
松枝先生が切望された南志賀学寮が建設された
日本赤十字社金色有功章を高松宮妃殿下より賜る
大韓赤十字社釜山直括市感謝碑の盾を受ける
明治高等学校中学校退官
OB主催による“チーターを送る会”が催された
午後8時38分 千葉県浦安市にて永眠
合 掌

懐かしき日々

応援団、生徒会など、明治で育った卒業生一人一人にも大きな感銘を与えた。行動的且つ情熱的で、野生味あふれる指導は、以後「伝説の人間教育」として永久に語り継がれると思われる。



名物裸ランニング



30年代バレーの授業中



63年奥さんと欧州旅行

昭和37年卒 吉田 信行

明治を愛し続けた、故松枝正弘先生に、心より御冥福を御祈り申し上げます。

卒業生一同

昭和二十八年卒

君塚美明法律事務所長

東京家庭裁判所参事員

家事調停委員

明治大学評議員

東京中野ロータリークラブ会長

弁護士 君塚美明

〒105港区西新橋三十五一八

西新橋中央ビル六階

FAX 四三七一五七三二

四三七一五七三二

(自宅) 〒168杉並区久我山四二一四
TEL 〇三(三三三)二四五八

昭和二十八年卒

大橋法律特許事務所

弁護士 大橋正爾

〒104中央区勝どき五十一一

北水ビル第二一五階

FAX 五三一三二五二

五三一三二五二

昭和三十一年卒

昭和法律事務所

弁護士 中田真之助

〒104中央区銀座四一四一

銀座グレートビル四階

FAX 五四二一七五六

昭和三十四年卒

小坂法律事務所

弁護士 小坂嘉幸

〒110台東区上野三十七一八

田沼第一ビル四階

FAX 八三一六〇三二

八三一六〇三七

昭和三十五年卒

染谷総合法律事務所

弁護士 染谷壽宏

〒106港区六本木三一一四一二

秀和六本木ビル五〇四

四七〇一〇六九

四〇二一六八三

昭和三十六年卒

谷法律事務所

弁護士 谷 正之

〒104中央区銀座三三一一七

銀座チャリビル四階

FAX 五六一一八六八

五六一一八六八

昭和三十七年卒

新麴町法律事務所

弁護士 福島啓充

〒102千代田区麴町四一五一一

睦ビル六階

二三四一〇五一

FAX 二三四一〇五一

田村晴彦君を偲ぶ

昭和40年卒

米山 廣 昭

ここに謹んで明優会を代表して田村晴彦君を偲ぶ追悼文を書かせていただきます。

明優会は昭和40年明治高校卒業の同期会であります。昭和55年7月に恩師を迎えて浅草「喜多八」で最初の同期会を開きました。以後2年に1回ずつ回を重ねて現在に至っております。同期会の名称である「明優会」は田村君が名付け親であり、同期一同至極気に入っております。今「明優会」は君を失って、誠に残念の極みであり哀惜の念を持って、心からご冥福をお祈り申し上げます。

明優会ではいつも乾杯をお願いしていて、君はいつも放送班仕込みの声で授業風景を思い起こすような挨拶をしていました。

中学・高校と一貫して放送班に在籍しており、君が行う校内放送は簡潔明瞭で放送は田村が、田村といえは放送班という程でした。

今、鮮烈に思い出すことは、田村君が生徒会長に立候補した時に、演説の壇上にてパンの田村独特の割引目たる田村デーを設置するということ、そして自分が会長となったら兄、(正彦氏、現、大妻中野高等学校教諭)にならうとの兄弟会長の実現であることを言っておりました。

兄弟会長は実現しませんでした、が、副会長として会長を補佐し、常にテーパーレコーダーを手元に置き、活躍しておりました。又、生徒会

誌である「過程」に、放送ナリオのような作文を載せるほど文才豊かでありました。Y M C A食堂で行われる、総明会の評議員会では重たいカバンを提げてやって来ていつもの定席に座っておりまし

た。病気のことに付いて次兄、田村正彦先生より詳しくお知らせいただきました。

○昭和63年12月授業中生徒に答案用紙を返却中、具合が悪くなり、学校より、先生方に付き添われ、直ちに両国の田島病院に救急車で入院。脳腫瘍の疑いを持たれたが、自宅近くの女子医大に転院し治療を続ける。

○平成元年1月14日、女子医大での精密検査の結果「異常なし」の診断を受ける。

就業許可がでて2月初めより出勤する。

しかし、その後3月、9月、10月、学校又は自宅にて発作を起こし、救急車にて入院その都度診断は「何でもなし」ということで数日で退院。出勤しながら週一回の通院、授業、診察を受ける。

○平成2年1月24日朝、自宅で強い頭痛と気分の悪いことを訴え女子医大に入院。

○2月25日頃より意識の混濁がはじまる。

○3月6日の精密検査の結果

異常発生、脳組織検査のため脳細胞の一部を摘出。

○3月8日担当医より脳腫瘍末期と診断される。

○3月14日 のどを切開し、呼吸装置を取り付ける。

○4月10日 長男、成彦君の尾久小学校入学を伝える。抗ガン剤の効果が大きく見開いた眼だけで成彦君を追う。一筋の涙頬にあり。

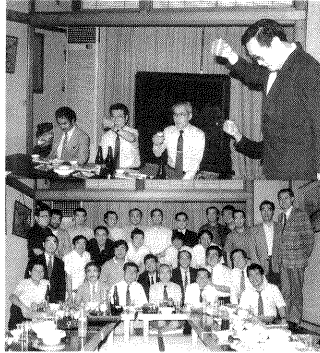
○5月17日午前10時26分死去、(奇しくも松枝先生の手術の日でありました)

人生の半分以上を「明治」に学び育て、そして生徒に教えて過ごした田村君、我等明優会の誇りでもありました。栗野哲也先生をはじめとする君の数多くの教え子の方々が、志なかばにして出来得なかったことを完遂してくれるでしょうからご安心ください。

特筆すべきことは、君が父、母に対して限らない孝養を尽くしたことだ、君の人格を知る人々等しく認めるものであります。

5月の晴れたわたった青空を見るたびに君のことを思い出すでしょう。田村君よ白雲となつて奥様を成彦君を、明治

につながる人々を暖かく見守って下さい。そして我々同期生に「明優会」の名を遺してくれてありがとう。



平成元年7月8日浅草喜多八にて

田村晴彦君 略歴

昭和21年5月23日 東京都荒川区尾久の東京女子医大第二病院にて父・田村彦次郎、母・タツの三男として出生

昭和28年4月 荒川区立尾久小学校に入学

幼少時代から父親が古道具屋で買ってきた機械をこわしては又組み立てたりすることに熱中していた。

生家が尾久最古の珠算塾であったのでソロバンは得意であった。

オルガンを弾いたり、組芝居を自分で作って遊んでいた。

昭和34年4月 明治中学入学
昭和40年3月 明治高等学校卒業
中学校・高校時代は一貫して放送班に所属、高校2年の時 生徒会副会長として活躍、昭和44年3月明治大学文学部演劇学専攻

卒業、ただちに母校明治中学、高校の国語の教師として以後21年間在職。

昭和56年11月26日 元明治高等学校校長福島則雄先生、令夫人ゆき様の御媒酌で成美様(旧姓小島)、市ヶ谷私学会館で結婚式を挙げる

戒名 秀光院法教日晴居士
東京都港区一丁目 長久寺に眠る。

合掌



明優会のよせがき

平成2年4月 長男成彦君、父親の母校尾久小学校に入学

在職中の活動

学年主任、視聴覚係主任、同窓会担当教諭に任命され、同窓会名簿作成、事務連絡等、同窓会と学校とのパイプ役として活動。

明治中学校、高等学校の校史「60年のあゆみ」の編集に従事、資料集めの研究に携わる。その経験から若くして校史に精通

元校長福島則雄先生の講話集「夢と光と風」を編集、多くの人々の感銘を受ける。

明中高放送班顧問として常に学校行事においてはマイクと共に在った。

班員は全国放送コンテストに参加しては常に優秀なる成績を挙げている。

財団法人松下視聴覚教育研究財団研修会講師
全国高等学校放送教育研究会事務局委員
劇団「紫紺の会」会員。

昭和三十七年卒
柚木法律事務所

弁護士 柚木 司

〒101千代田区神田平河町

一番地 第三東ビル四階

八六二一九二七七

FAX 八六五〇七九八三

昭和四十一年卒

中村・山近矢作法律事務所

弁護士 矢作 健太郎

〒100千代田区有楽町一〇三

第一生命館三〇三号

二一五〇五四一〇

FAX 二一五〇五四〇〇

昭和四十二年卒

銀座中央法律事務所

弁護士 小野寺 昭夫

〒104中央区銀座八六二二五

河北ビル五階

五七三三七六六一

FAX 五七三七七六六三

昭和四十二年卒

結城法律事務所

弁護士 結城 康郎

〒107港区元赤坂一〇一七

赤坂モートサイド九〇五

四七〇一一五二三

FAX 四七〇一一五二五

昭和四十三年卒

佐久間法律事務所

弁護士 佐久間 洋一

〒104中央区銀座三三一一五

銀座アベニュービル5階

五三五六七二二

FAX 五三五六七二〇

昭和四十七年卒

風間法律事務所

弁護士 三浦 雅生

〒107港区赤坂二一九一五

日本自動車会館新館

五八三一二二三

FAX 五八三一二二三

ホテルニュー稲元

昭和二十七年卒

代表取締役

稲田 博士

昭和三十三年卒

常務取締役

稲田 勝久

〒413静岡県熱海市東海岸町

サンビーチ前

TEL 〇五五七(八二)五三三三

先輩、後輩諸兄の近況報告

明中、明高同期会だより

昭和2年卒業

同期会の名称は、「明士会（めいしかい）」11回卒業であるので十と一を組み合わせた。十一は土であり、明士（冥土）に通じるので、十一を土として、こう命名された。

11回卒業というわけで、開催サイクルも11月11日と毎年決めており、すべて11につながつているわけである。もちろん昨年もことしも11月11日に行った。新宿か銀座で開くことが多い。

また連絡を密にするように、返信を載せた会報も毎年1回、発行しており、もう、40年以上にもなる。

「こう長く、また定期的に行えるのも、世話好きがいて、なんとなくみんな集まってくれる」と野玉氏はいう。

〔連絡先〕〒113 東京都文京区千駄木3-6-2 TEL 03(821)0753 野玉 善雄

昭和4年卒業

同期会の名称は、「明中昭四会（めいちゅうしやうしかい）」昭和4年卒業でこう命名された。

だいたい年2回、春と秋に開いている。15人前後は集まる。ことし春には新宿駅ビルの「松澄」で行った。ここ数年はここが集まりの場となっている。みなもう80歳近くになり、夜の外出は避けたいと

いう意向から、昼の集まりになりつつあるようだ。それぞれ当番幹事2名を決めて連携プレーで参加者によびかけている。

〔連絡先〕〒133 東京都江戸川区北小岩4-12-14 TEL 03(657)4353 抽木 要

昭和5年卒業

同期会の名称は、「明交会（めいこうかい）」卒業した翌年からよくやっていたが、このところはずい分とやっていないようだ。亡くなってしまった人もいるし、地方にもバラバラになったりして、最近ではむずかしいという。

小林正雄氏は「自分が中心でやっていたが、いちばん親しくして世話好きのが亡くなったたりして、あまり開いてない状態」とさびしげにしゃる。

でもまた、なんとか集めて開催してゆくとのことである。

〔連絡先〕〒162 東京都新宿区市ヶ谷薬王寺町39 TEL 03(351)4856 小林 正雄

昭和12年卒業

同期会の名称は、「明中二一会（めいちゅうにいちかい）」21回の卒業のため、そう命名された。

開催サイクルは年3回やることもあるが、だいたい毎年開催している。交代で幹事も

22の二度実施されたことにより、17年入学で、21年3月に4年で卒業した人と、旧に復した制度で22年に5年で卒業した人がいる。

斎藤会長、菅田幹事の連係で開催サイクルは毎年2回、春が親睦会、秋が旅行会という感じでやっている。

そのほか、「分化会」として、秋に個々に3、4名が集まって「散遊会（さんゆうかい）」という小旅行会を行ったり、「ゴルフ会（U・M・Mクラブ）」なども行っている。

〔連絡先〕〒150 東京都渋谷区1-3-7 TEL 03(400)5500 中富 光國

昭和18年卒業

同期会の名称は、「27回明治中学卒業クラス会」明中第27回卒業をそのまま、同期会の名にした。

だいたい毎年行うようにしているようだ。昨年も11月に開いて30人前後の参加者を集めた。

「この年齢にしては集まるほうだ」（藤本善太郎氏）これからの連絡をとりあって開いてゆくという。

〔連絡先〕〒107 東京都港区南青山2-3-1 TEL 03(401)5374 藤本善太郎

〒339 埼玉県岩槻市愛宕町3-35 TEL 0487(56)1482 島田 都夫

昭和21・22年卒業

同期会の名称は、「午巳の会（うまみのかい）」・別名ごみのかい」巳歳と、午歳生まれの会からこう命名された。

この年代は戦時の特例措置で4年卒業という制度が21・

昭和三十年卒業

W・K事務器発売元

W・Kオフィス家具発売元

木村事務器株式会社

取締役社長

木村節男

本社 〒101千代田区外神田

三十一六一二

TEL (二五三) 六五六一

(営業所) 仙台・埼玉・千葉

FAX (二五一) 〇六七九

田中シャーリング株式会社

昭和三十五年卒

田中彌八郎

田中宏昌

昭和五十九年卒

田中宏昌

〒130東京都墨田区亀沢

四一三三十五

〇三(六二四)五四六一

小室鋼業株式会社

昭和三十四年卒

小室秀夫

昭和三十六年卒

小室雅夫

昭和三十七年卒

小室輝夫

〒130墨田区吾妻橋一七七一

六二五二二二一

昭和四十年卒

真空蒸着・合成樹脂二次加工全般

東洋加工株式会社

代表取締役 福島康充

本社

〒332埼玉県川口市青木四二二二三

〇四八二一五二一五〇一六

FAX 〇四八二一五二一七二一〇

戸田工場 〒335埼玉県戸田市早瀬二二七一二

〇四八四二二二一二七五(代)

FAX 〇四八四二二二一六二九

参加者があるそうだ。
最初の頃は2年に1回だった
が、ものたりず毎年になっ
たという。

〔連絡先〕〒101 東京都千
代田区神保町1-7 TEL
03(291)2557
高橋 信雄

昭和26年卒業

同期会の名称は、「猿楽会」
26年の新制になってから入学
した第1回卒業生になるそう
だ。もちろん学校所在地の神
田猿楽町にちなんで名づけら
れた。以前は毎月1回、第一
木曜日に、「木曜会」と称して
開いていたが、最近は低調だ
という。

来年は40周年の節目に当た
るので盛大にやろうと準備中
である。同期生に大崎三男氏
(野球評論家)もおり、また
同期会の卵木会長も、野球部
の監督に就任、母校には、い
ろいろと貢献している。

〔連絡先〕会長 〒116 東京
都荒川区西日暮里6-51-3
TEL03(800)61
00 卯木 敏夫

事務局 〒101 東京都千代
田区神田岩本町1 岩本町ビ
ル73号 TEL03(25
6)8079 武政 芳則

昭和27年卒業

同期会の名称は「明高会(め
いこうかい)」明治高校の明高
ズバリそのものである。
開催サイクルは3年に1回開
いている。

最近では、3年ぐらい前に
「ホテル・サンルート新宿」
(桜井常務が同級生)で開かれ
た。50名近く集まった。常時、
同期200名の1/4に当たる

50名前後は集まっているとい
う。
事務局の米山耕右氏は「この
年になると亡くなる人もふえて
きてなんとなくさびしい」と
語ってくれた。

〔連絡先〕代表幹事・新田
満夫 〒112 東京都文京区小石
川2-17-11 TEL03(35
7)1411 事務局・米山耕
右 〒101 東京都千代田区内神
田2-3-2 TEL03(25
1)8268

昭和28年卒業

同期会の名称は、「明窓会
(めいそうかい)」明治中学
治高校同窓の意味だそうだ。

開催サイクルは、毎年1回は
開くようにしているという。で
も近年は直接教えをこうた先生
方が亡くなったりして、会も
しめりがち。最近では4年前に
40人ほど集まって開いた。

「だんだんかけてくるもので
すからそのへんがネックになっ
てしまう」と戸田一郎氏。
会をつづけてゆくには、固定
的住居をもっている人が、情報
交換をしあって、連絡すること
である。

〔連絡先〕〒184 東京都小金
井市本町2-8-15 TEL0
423(84)5740
戸田 一郎

昭和29年卒業

同期会の名称は、「二九会
(にいきゅうかい)」昭和29年
卒業の年にあわせてつけられた。
3年に1回のわりに同窓会を
開いている。最近では、ことし
5月に水道橋の後楽園飯店で開
いた。そのときは、卒業年の4
クラスの担任の先生のうち、亡
くなられた方はずし、松本先
生、伊藤先生、浅野先生らをお

呼びして、60名くらい集めて、
盛大に行った。
平均して、50名前後が同期会
では集まってくる。

またこの卒業年の同級生には
硬式野球部の監督をしていた山
本晃裕監督がおり、山本前監督
をまじえて、昨年「二九会
ゴルフコンペ」を行っている。
ことしも同期会の山浦氏が中心
となって、3月10日に場所も昨
年と同じ名門大利根カントリー
クラブで第2回二九会ゴルフコ
ンペを行った。

山本前監督、矢嶋会長はじめ
同伴も10名ほどあり、30名以上
の参加者を得て盛大に行われた。
賞品も各自持ちよって、和気あ
いあいのうちに楽しい1日をす
ごした。

「来年はさらに、多くの参加者
をつのり、もっと盛大にやって
ゆきたい」と山浦氏は来年以降
もずっとつづけてゆくと言っ
ていた。

ゴルフコンペについてのお問
い合わせは左記のとおりです。
二九会事務局……山浦まで
TEL03(381)1111
〔連絡先〕〒101 東京都千代
田区猿楽町1-4-5 TEL0
3(291)2384
矢嶋 偉行

昭和30年卒業

同期会の名称は、いまのと
ころ検討中、連絡をとるとき
は昭和30年卒同期会としてい
る。

だいたい2年に1回、開催
している。最近では、本郷の
「藤屋」さんで開いた。そこ
も明治の33年卒の二村さんが
経営しているところだ。その
ときは30名くらいが参集し
た。恩師も栗原、野呂、中野
の各先生に現役の「ターザ

ン」水落ら各先生の方々がき
てくれたそうだ。

「まあ、うちの学年は幹事
長の石田君がしっかりしてい
るから助かる。ほとんど石田
君の尽力のおかげだと思っ
ている」
と大場総明会専務理事。

〔連絡先〕〒275 習志野市
袖ヶ浦4-105-14 TEL
0474(53)2973
大場隆之 〒113 東京都文京
区湯島2-2-3 矢崎ビル7
03 TEL03(811)
4009 石田 彰之

昭和31年卒業

同期会の名称「明楽会(めい
らくかい)」同期会の席で投票
し名称を決めたという。

開催サイクルは決まっていな
いが、隔年見当で秋ぐらいに開
いている。出席者数はよくて50
人、わるくて30人ぐらい。でも
やはり出席する人もあるといど
限られてくるという。でも中に
は初めの人もいるし、なつかし
いものだ。土田幹事、伊藤幹事
が中心で動いてくれている。

最近では昨年、石川先生の
出版記念パーティーが開かれ
その折、なんとなく仲間とあ
いたくて、同期会を開いた。
〔連絡先〕〒166 東京都杉並区
阿佐ヶ谷北2-31-18 TEL03
(339)3713
中田真之助

昭和32年卒業

明治会の運営は現在、二瓶、
大久保、石坂、浪越、小宮君等
5人が幹事(3年任期)となっ
て素晴らしく活発な活動を展開
しております。

明治会通信

山崎 敬生

昭和十八年卒 木場グループ
(37名)
昭和二十年卒 落合製材社
昭和二十二年卒 大堀雅義
昭和二十三年卒 大堀雅義
昭和二十五年卒 大堀雅義
昭和二十七年卒 大堀雅義
昭和二十九年卒 大堀雅義
昭和三十一年卒 大堀雅義
昭和三十三年卒 大堀雅義
昭和三十五年卒 大堀雅義
昭和三十七年卒 大堀雅義
昭和三十九年卒 大堀雅義
昭和四十一年卒 大堀雅義
昭和四十三年卒 大堀雅義
昭和四十五年卒 大堀雅義
昭和四十七年卒 大堀雅義
昭和四十九年卒 大堀雅義
昭和五十一年卒 大堀雅義
昭和五十三年卒 大堀雅義
昭和五十五年卒 大堀雅義
昭和五十七年卒 大堀雅義
昭和五十九年卒 大堀雅義
昭和六十一年卒 大堀雅義
昭和六十三年卒 大堀雅義
昭和六十五年卒 大堀雅義
昭和六十七年卒 大堀雅義
昭和六十九年卒 大堀雅義
昭和七十一年卒 大堀雅義
昭和七十三年卒 大堀雅義
昭和七十五年卒 大堀雅義
昭和七十七年卒 大堀雅義
昭和七十九年卒 大堀雅義
昭和八十年卒 大堀雅義
昭和八十二年卒 大堀雅義
昭和八十四年卒 大堀雅義
昭和八十六年卒 大堀雅義
昭和八十八年卒 大堀雅義
昭和九十年卒 大堀雅義
昭和九十二年卒 大堀雅義
昭和九十四年卒 大堀雅義
昭和九十六年卒 大堀雅義
昭和九十八年卒 大堀雅義
昭和九十九年卒 大堀雅義

次年度の幹事学年です
よろしくお願いします

昭和三十九年卒

- | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-------------|------|----------|------|---------|------|-------|------|-----|------|-------|------|---------|------|----------|------|---------|------|---------|------|------------|------|----------------|------|---------|------|------|------|
| アルコアジャパン(株) | 武村隆二 | シテイハウジング | 佐藤 仁 | 東京ガス(株) | 前田忠昭 | 公認会計士 | 谷 慈義 | 弁護士 | 前島良彦 | 日本橋東洋 | 北村元曠 | (株)渡辺燃料 | 渡辺誠一 | (株)サートロン | 渡辺幸男 | 昭栄木材(株) | 堺 健一 | 青木味噌(株) | 青木義昭 | (有)岩本通信工業所 | 岩本 忠 | ヘッド・スポーツウェア(株) | 辺田礼秀 | 金崎製菓(株) | 金崎幸雄 | 海田耀市 | 七尾孝房 |
|-------------|------|----------|------|---------|------|-------|------|-----|------|-------|------|---------|------|----------|------|---------|------|---------|------|------------|------|----------------|------|---------|------|------|------|

昨年11月に山の上ホテルで開催された同期会には初めての参加の方も多く、大いに賑わいビンゴゲーム等と和気藹々の中で終始しました。本年度も11月17日(土)山の上ホテルで開催致しますが、3年目を迎えた幹事の方々も増々楽しい会にと張り切っておりますので、皆様多数ご参加下さい。

なお、去る3月8日に、定年退職を祝って行われた「チャーターを送る会」は戦後OB達が結集し、先生が感激、涙する大盛会でしたが、中でも明治会は36名という各学年の中で最大の出席数で先生を大喜びさせ、今更ながら縁の深さを感じさせました。

昭和35年卒業

同期会の名称「三五会(さんごかい)」35年卒業の35、サンゴウ、にかけてこう名がつけられた。

開催期は不定期で、1〜3年に1回は開くようにしている。幹事もまちまわりで、ことしか来年には開く予定であり、森山氏、倉林氏らが幹事で今度は頑張ってくれるそうだ。出席者数は70〜80名にもなるというからなかなかのものである。

昭和36年卒業

「連絡先」〒168 東京都杉並区善福寺1-13-26 TEL 03(390)9728 野田 繁

明駿会だより

加藤 真義

昭和36年3月に、明治高校を卒業した駿馬の如き若人(?)の集まりが私たち明駿会です。同期会は隔年に1回開催していますが、毎回40〜60名ぐらいの人数が集まり、実に楽しくやっています。同期の連中は現在40代後半が働き盛りで極めて多忙であるにも関わらず、明駿会となるとは何はさておいても集まり、話に花を咲かせるのです。明駿会での話がキッカケで、幾つもの小集団ができ、これまたそれぞれ楽しくやっています。

昭和33年卒業

同期会の名称は、「三三会(さんさん会)」卒業年の33年をもじって、こう命名された。開催サイクルは、だいたい2年おきに開いており、常時、平均30から40名の参加者があるということだ。

ヤナに行つて鮎をサカナに一杯飲む会、釣船に乗って釣れようが釣れまいが天ぷらで一杯飲む会、落語を聞きに行つて今日の落語はどうだったのと言いながら帰りに一杯飲む会、仲間が本を出したと聞いたら出版記念会をやつてその後一杯飲む会、理由はなくても誰かが声を掛けたので集まつて一杯飲む会、等々。いや、一杯飲む会だけではありませぬ。政治、経済、科学、芸術学の課題で知的刺激を受けることを目標としている真面目なグループも出発しようとしています。

昭和40年卒業

同期会の名称は、「明優会(めいゆうかい)」母校の教諭であった故田村晴彦先生の命名。明は明治の明と明るさ、優は同期の仲間が優れた人物として集まる会ということの名付けられたそうだ。

はや卒業して4半世紀になり、2年に1回開催してきている。最近ではことし7月28日に、銀座三井アーバンホテルでビヤーパーティー形式で行い、50名近くの参加者を得た。毎回、このていどは集まっているそうだ。

昭和41年卒業

同期会の名称「41(よんいち)明友会」卒業年をそのままの名称にしている。

最近では去年(平成元年)開催した。50〜60人の出席者数をえた。開催サイクルはだいたい2年に1回のわりで開いているが、集め始めたのが7、8年前からでだから4回目になる。現役当時の生徒会長だった亀井氏を中心に、運動部の関係者、同窓OB会がみんな力で力をあわせて開くようにしている。事務局は15人幹事制をとっている。

昭和39年卒業

同期会の名称は「117会(いいなかい)」いいな、いいなというわけである。

開催サイクルは5年に1回開いており、その節は100名以上の出席者がある。ほんとうはそのサイクルでゆくと、ことしが開催年だが、来年在総明会総会の幹事学年にあたり、それにそつて併催したいとのことである。

LAKE SIDE HOTEL

野尻湖

ラフィネマルタ

セーリング/水上スキー/テニス/ゴルフ/サウナバス/スキー・黒姫/妙高/赤倉/斑尾

オーナー 宇田川雄弘 (昭和30年卒業)

●東京営業所 〒179 東京都練馬区北町6-32-3 マルタビル平和台2F TEL 03-550-7423 FAX 03-550-7424

●ホテル 〒389-13 長野県上水内郡信濃町大字古海4467 TEL 0262-56-2760 FAX 0262-58-3660

お申し込み お問合わせ

株式会社サンリッツ

(旧三立電機株式会社)

— 通信機器部品・装置・偏光板 —

代表取締役社長 三上外喜男 (昭和17年卒)

常務取締役 三上 嗣治 (昭和44年卒)

研究開発室次長 島野 竹夫 (昭和46年卒)

昭和三十六年卒(明駿会) 株式会社増田製作所 常務取締役 増田 敏男

株振天堂トケイ店 昭和二十八年卒 戸田 一郎

昭和三十八年卒 戸田 守彦

〒101東京都千代田区神田小川町三十一 (二九二) 四五五四

昭和三十二年卒(明治会) 株城北清掃代表取締役 堀内 邦彦

〒174板橋区東新町二四一―五 TEL 〇三(九五六)二七七九

昭和三十一年卒 株式会社 日刊プロスポーツ新聞社 取締役社長 月岡 洋児

〒116荒川区東日暮里四一九―二 八〇六一―一一一

昭和三十三年卒 株富士産業文京駐車場 藤義商興株白山駐車場 専務取締役 藤田 義茂

文京駐車場 〒112文京区小石川一―二―一四 日本生命小石川ビル 八一一―三四五六代

白山駐車場 〒113文京区白山一―五―一二 八一一―五四五八

八幡丸漁業運輸株式会社 昭和三十二年卒(明治会) 代表取締役 宇山 正泰

昭和三十九年卒 常務取締役 宇山 尚宏

〒100-02東京都大島町波浮港一 〇四九九二(四) 〇四五二

昭和三十九年卒 東急ストア調布店 店長 佐藤 信征

調布市小島町二―五二―一 〇四二四(八六) 〇一〇九

昭和三十五年卒 東京共同梱包運送株式会社 代表取締役社長 小田嶋 伸和

〒135江東区東雲二―二―二〇 五二九―一三四一(代)

御宴会 孫屋 本郷二丁目交差点 八一一―四四九九(代)

昭和三十三年卒 二村 昌也

文京区本郷三一―五―二 八一一―三四八六

昭和42年卒業

1) 5427 菊池博道

べつにこれといって、名もつけずに、サイクルも決まないうでてきとうに何年かして集まっている状態だという。

最近では昭和62年頃、赤坂で開いて、70、80名が参加した。「生徒会、クラス委員、在京の世話役が連絡をとりあって、開くようにしている」(結城幹事)

〔連絡先〕〒107 東京都港区赤坂1-1-7 赤坂モータース 905 TEL 03 (470) 1523 結城 康郎

昭和43年卒業

同期会というか、全体での会一度もやっていない。「個人グループでは個々にやっているが、いまのところ組織だったものはない」(佐久間洋一氏)ということである。

だが、これから先、総明会の幹事年になるので、それまでには何かのあたりで同期会をつくらねばならないと考えている。

〔連絡先〕〒104 東京都中央区銀座3-3-15 銀座アベニュービル5階 TEL 03 (535) 6721 FAX 03 (535) 6720 佐久間法律事務所 佐久間洋一

昭和44年卒業

同期会の名称は、「男坂クラブ」、在学中に利用した「男坂」から会の名にした。

開催サイクルは2年に1回を基準に開いている。ことしも秋に開く予定という。 (8月末現在)「うちの学年はわりとまとまりがいいんですよ」

(服部雄二氏)のとおり、前回も70名以上の参加者があった。

おとしの秋には、神田のすずらん通りの「楊子江」を借りきって行ったそうだ。

またこの同期生には声優の田中秀行氏がいる。田中氏は声優でも売れっ子で、TVの洋画の吹き替え、(ジョン&パンチ)やキン肉マンやドカベン、その他で主役級で活躍している。

〔連絡先〕〒101 東京都千代田区神田佐久間町4-22 TEL 03 (861) 7566 服部雄二

昭和45年卒業

同期会の名称は、「獅子の会(ししかい)」昭和44年度というので44をライオンの獅子と44をシシと呼ぶところから命名された。

開催サイクルは、4年に一度、オリンピック開催の年に合わせている。最近では一昨年のソウルオリンピックの年に「松本楼」で約1000名を集めて開かれた。

幹事は毎回、クラブの持ちまわり制で行われており、前回は柔道部、今度はテニス部、最初の年は応援団が、音頭をとって行った。

〔連絡先〕〒112 東京都文京区小石川1-21の2 TEL 03 (811) 3355 吉田耕太郎

昭和47年卒業

同期会の名称は、「四七四七同志会(ヨナヨナドウシヨウカイ)」昭和47年卒と「同窓会」のゴロ合わせにひっかけて命名した。

開催サイクルは、本来2年に1回なのだが、このところ3年ぐらいい開いていないそう

だ。卒業してから4回行った。最近では4年前、上野の東天紅で開き100名ほどの参加者があった。三浦幹事は「もうそろそろ開かないとい

けないのだが、私の仲間で在京でヒマなのをみつめてピックアップして幹事をお願いしようと思っている」という。

やはり、この年も生徒会、応援団、柔道部、クラス会のOB連中が中心になっている。

〔連絡先〕〒107 東京都港区赤坂1-9-15 日本自動車会館新館、風間法律事務所 TEL 03 (583) 2223 三浦 雅生

昭和48年卒業

ことし10月に母校明高の生徒ホールをお借りして、昭和48年卒同窓会を開く予定であるという(8月末現在の話)目標は80人、すでに40人に連絡して、出席の返事を得ている。

卒業以来、初めて母校の施設を使うということで企画を立て気合を入れて人数集めをしている。

これからは毎年できるようにしていきたいという。

昭和49年卒業

卒業以来1回も同期会が開いていないという。生徒会本部の栗野先生が同期で、そのつながりで何回か少人数で会ったことはある。でも同期のメンバーはいつかはやる機会をさがすと張りきっているそうだ。

2年前の総明会とき、ちょ

うど10人ぐらいの同期生が集まり、総明会の流れでやったくらい。でもことしは松枝先生の「送る会」や「葬儀」で仲間と会ううち、年に1回くらい呼びかけてあおうじゃないかということになっている。

〔連絡先〕〒133 東京都江戸川区松本町1511 TEL 03 (673) 0780 大前実之

昭和52年卒業

現在のところ、決まった同期会というのはいない。でもことしの3月に、「チータ」を送る会「の松枝先生の送別会」のときに久しぶりに会って、やらなければ、という話になっている。

上にもなるし、世話の好きな仲間もいるのでもうそろそろできると思う。

〔連絡先〕〒101 東京都千代田区岩本町2-8-10 TEL 03 (851) 9565 大西 静士郎

昭和53年卒業

残念ながら、現在のところは決まった同期会はない。同窓生も30代になり、そろそろ声をかけあってやろうという声は高まっている。

総明会の評議員になっている井口氏が、明大の生田校舎に勤務している関係で、明大在学の現役学生諸君に「総明会」総会にぜひ出るようにと呼びかけてくれているそうだ。

53年卒組もことしか、来年には10人ぐらいい集まって、同期会発足にむかっているという。

〔連絡先〕〒162 東京都新宿区市谷田町2-27 TEL 03 (269) 8384 井口 幸洋

昭和三十四年卒

株式会社岡崎鋼鉄商店

岡崎 安彦

昭和三十七年卒

日本アラゴナイト株式会社

岡崎 安久

〒130 墨田区本所四二二一五 六二二一五六〇七

昭和三十六年卒

一ツ橋ノート株式会社

代表取締役 田中 確正

〒132 江戸川区中央三六二二三 TEL 〇三(六五一)五一九一

昭和四十年卒

株式会社 マチダ

代表取締役 荒木 毅

〒340 草加市栄町一五八八 TEL 〇四八九(三二)八七三二

昭和二十九年卒

株式会社富士カラー

代表取締役社長 山浦 晟暉

〒166 杉並区和田一四二二 TEL 〇三(三八二)四一一一

昭和三十六年卒

矢島シン商会

〒114 台東区浅草橋五二二一六 八五一〇〇七六

昭和三十七年卒

有限会社小川紙器製作所

〒130 墨田区亀沢三一七四 FAX 六二五〇三七三〇 六二五〇三七三〇 六二五〇三七三〇

EIWA GROUP
Group Headquarters

永山和己 (昭和25年卒業)

★ エイワグループ

- ・(株)エイワ・コーポレーション
- ・(株)ユイ・コーポレーション
- ・(株)店舗流通センター
- ・永和産業(株)
- ・エイワインタークラフト(株)
- ・アリス・システム(株)
- ・エイワ・インターナショナル(株)
- ・ヴィルモット・ジャポン(株)
- ・ヴィノッシュ・ジャパン(株)
- ・K. N. グループインク(米国)
- ・コンティ・ディベロップメント(フランス)

新本社住所 〒151 東京都渋谷区千駄ヶ谷3-9-2
Tel:796-5500 Fax:796-5510

飛嶋 奏

昭和三十六年卒

飛栄グループ

代表

〒101 千代田区神田神保町二一四

〇三一二三四一二五一一

三和繊維株式会社

昭和三十四年卒

専務取締役

小林 功明

昭和三十七年卒

常務取締役

小林 久剛

〒112 文京区千石四一三九一一九 九四六〇二四八代

現役後輩たちの班、運動部、文化部活動報告

生徒会本部

常に生徒会の中核として活動している。仕事は地味そのものである。

本部内は、書記、会計、企画、執行、総務という五役にわかれており、生徒会が活発に、かつ活動しやすいように日夜、会議の指揮、書類作成、運営及び補佐をしている。具体的には、4月の新入生歓迎会に始まり、会長選、生徒総会、文化祭、体育祭などの運営及び補佐をしているのだ。

応援指導班

一昨年40周年を迎えたたいへん伝統のある班だ。その長い伝統を受けつぎ、野球応援や紫紺祭において、応援紹介などの各行事を通して、明治高校の生徒の士気や団結力を高めようと努力している。

「新入生歓迎会」、春、夏、秋の「野球応援」、「体育祭応援」、「文化祭応援紹介」、東京六大学附属高等学校応援団連盟、連盟祭「六旗の集い」、そして春と夏に行われる「合宿」など数えきれぬほど多くの行事に参加している。

また、毎朝の男坂の清掃など多くの奉仕活動にも積極的に参加している。

新聞班

「明治のオピニオンリーダー的存在」を大目標に活動をつづけている。新聞班は、学校で今

何が起きているかを即伝える。いわゆる「学校の窓」的役割りを果たしているわけである。近年は、新聞用紙の良質化、活字の拡大、多くの写真の使用(号外はカラー写真も)は現代にマッチした視覚に訴える新聞づくりしに尽力している。年3回の発行のほか、よりタイムリーなニュースを伝えられるように協議会文庫、休刊との連携による号外の発行にも力を注いでいる。

吹奏楽班

比較的忙しい班のひとつといえるのがこの吹奏楽班だ。1年間の活動をざっとあげると、式典での演奏、新入生歓迎会、文化祭などの学校行事、そのほかバンドフェスティバル、コンクール、定期演奏会、六旗の集い、交通安全の集いなど数多くの行事がある。いくら練習しても決して頂点をみることのできない音楽。その頂点をめざすことを目標に、毎日の血のにじむような練習をしているという。

放送班

自称「縁の下」の力持ち。それが放送班だ。学校行事の放送関係やビデオカメラ練習をして実績を残しつつある。かつては、アナウンス大会で優勝したこともあり、一昨年は、都大会で3位的好成绩をおさめることもできた。だがときには、放送がうるさいなどと言われ、ツマミを0に

図書班

この班も長い伝統をもち、その伝統の良いところを継承しつつ、いろいろなところを改善しながら頑張っています。図書班では、高校生向けに「ライブラリー」、中学生向けに「図書班版」を発行して、図書館の情報を提供している。

剣道部

「剣道部は明治のすべての部の中で最も古い部である」といわれるように、剣道部は明治の中でも最も長い伝統を誇っている部のひとつである。部員はその長い伝統を守りつつ、日頃から剣道を通じて心身を鍛え、礼儀作法を学び、闘争心を養っている。

高校硬式野球部

もちろん、野球部の目標はあくまでも「甲子園」である。甲子園に明高の校歌が流れるように、部員全員日々練習を重ねている。野球部というのは、ほかの部にはない大きな夢を追いながら自分の好きな野球ができるという、その大きな夢というのが、全国

の高校球児が憧れる、あの甲子園である。

今、そしてこれからも、その夢に向かって一歩、一歩確実に足を踏み出すのだ。古豪明治復活に向かって。OB諸氏も応援しているのだ。

高校軟式野球部

部員一同、この部活動を余りある青春のエネルギー発散の場として、これからも一丸となって練習に励んでいくつもりと、張りきっている。

これからは守備、投手力にもっと磨きをかけ、大会に向けて、ひとつひとつ目の前の目標をクリアし、いつの日か優勝という二文字をかちとることだ。

中学野球部

活動内容は、月曜日と木曜日は校庭でフリーバッティングとシートノックを中心とした練習で、水曜日と金曜日は屋上で走ることを中心としたバント練習や素振りややり、土曜日と日曜日は、つつじヶ丘で試合のための練習とスケジュールを組んで励んでいる。

高校山岳部

学校の中ではあまり目立たない部だ。だが今年度の部員数はなんと前代未聞の38人である。これは現代人が自然を求めつつあり、この現代の生活にあき、心が自然を求めているのか。山岳部員は、とにかくトレ

昭和三十三年卒 (明治会)
株式会社石坂善新堂
取締役社長
石坂義正
〒101千代田区神田神保町二一四四
二六四一八二二

昭和三十三年卒
代表取締役
斎藤和行
〒101千代田区神田神保町一五八
二九三一九七七六

昭和三十三年卒
代表取締役
久保田健司
〒130墨田区東駒形四一九一五
六二四一〇四二

昭和三十三年卒
代表取締役
工藤建次
〒130墨田区両国二一七一六
六三二一五六〇〇

昭和三十三年卒
代表取締役
高村光昭
〒116荒川南千住七三三二一六
〇三(八〇二)四二二九

昭和三十三年卒
代表取締役
高村製罐株式会社
〒116荒川南千住七三三二一六
〇三(八〇二)四二二九

昭和三十三年卒
代表取締役
高村製罐株式会社
〒116荒川南千住七三三二一六
〇三(八〇二)四二二九

昭和三十三年卒
代表取締役
高村製罐株式会社
〒116荒川南千住七三三二一六
〇三(八〇二)四二二九

昭和三十三年卒
代表取締役
高村製罐株式会社
〒116荒川南千住七三三二一六
〇三(八〇二)四二二九

昭和三十三年卒
代表取締役
高村製罐株式会社
〒116荒川南千住七三三二一六
〇三(八〇二)四二二九

昭和三十三年卒
代表取締役
高村製罐株式会社
〒116荒川南千住七三三二一六
〇三(八〇二)四二二九

昭和三十三年卒
代表取締役
高村製罐株式会社
〒116荒川南千住七三三二一六
〇三(八〇二)四二二九

昭和三十三年卒
代表取締役
高村製罐株式会社
〒116荒川南千住七三三二一六
〇三(八〇二)四二二九

昭和三十三年卒
代表取締役
高村製罐株式会社
〒116荒川南千住七三三二一六
〇三(八〇二)四二二九

昭和三十三年卒
代表取締役
高村製罐株式会社
〒116荒川南千住七三三二一六
〇三(八〇二)四二二九

昭和三十三年卒
代表取締役
高村製罐株式会社
〒116荒川南千住七三三二一六
〇三(八〇二)四二二九

昭和三十三年卒
代表取締役
高村製罐株式会社
〒116荒川南千住七三三二一六
〇三(八〇二)四二二九

昭和三十三年卒
代表取締役
高村製罐株式会社
〒116荒川南千住七三三二一六
〇三(八〇二)四二二九

昭和三十三年卒
代表取締役
久保田健司
〒130墨田区東駒形四一九一五
六二四一〇四二

昭和三十三年卒
代表取締役
工藤建次
〒130墨田区両国二一七一六
六三二一五六〇〇

昭和三十三年卒
代表取締役
高村製罐株式会社
〒116荒川南千住七三三二一六
〇三(八〇二)四二二九

昭和三十三年卒
代表取締役
高村製罐株式会社
〒116荒川南千住七三三二一六
〇三(八〇二)四二二九

昭和三十三年卒
代表取締役
高村製罐株式会社
〒116荒川南千住七三三二一六
〇三(八〇二)四二二九

昭和三十三年卒
代表取締役
高村製罐株式会社
〒116荒川南千住七三三二一六
〇三(八〇二)四二二九

昭和三十三年卒
代表取締役
高村製罐株式会社
〒116荒川南千住七三三二一六
〇三(八〇二)四二二九

昭和三十三年卒
代表取締役
高村製罐株式会社
〒116荒川南千住七三三二一六
〇三(八〇二)四二二九

昭和三十三年卒
代表取締役
高村製罐株式会社
〒116荒川南千住七三三二一六
〇三(八〇二)四二二九

昭和三十三年卒
代表取締役
高村製罐株式会社
〒116荒川南千住七三三二一六
〇三(八〇二)四二二九

昭和三十三年卒
代表取締役
高村製罐株式会社
〒116荒川南千住七三三二一六
〇三(八〇二)四二二九

昭和三十三年卒
代表取締役
高村製罐株式会社
〒116荒川南千住七三三二一六
〇三(八〇二)四二二九

昭和三十三年卒
代表取締役
高村製罐株式会社
〒116荒川南千住七三三二一六
〇三(八〇二)四二二九

昭和三十三年卒
代表取締役
高村製罐株式会社
〒116荒川南千住七三三二一六
〇三(八〇二)四二二九

昭和三十三年卒
代表取締役
高村製罐株式会社
〒116荒川南千住七三三二一六
〇三(八〇二)四二二九

昭和三十三年卒
代表取締役
高村製罐株式会社
〒116荒川南千住七三三二一六
〇三(八〇二)四二二九

昭和三十三年卒
代表取締役
高村製罐株式会社
〒116荒川南千住七三三二一六
〇三(八〇二)四二二九

昭和三十三年卒
代表取締役
高村製罐株式会社
〒116荒川南千住七三三二一六
〇三(八〇二)四二二九

昭和三十三年卒
代表取締役
高村製罐株式会社
〒116荒川南千住七三三二一六
〇三(八〇二)四二二九

ニング好きだ。トレニングを積んで積んで積みまくる。そうすれば山で楽しく過ごせると部員たちは考えている。なぜ山に登るのか」とたずねても部員は正確な答えをいうことはできないのだ。

水泳部

水泳部の1年間の活動は、春の都大会から始まる。そしてこの春の大会での反省をもとに秋の大会や区大会に備えて、夏の苦しく長い練習にはいるのだ。夏休みの間に鍛えぬかれた筋肉リユウリウの部員たちは、8月上旬の夏の合宿にのぞむ。そして、合宿を終えたあと、記念会、私立都大会、千代田区大会に出場する。とくに、千代田区大会では毎年優秀な成績をのこしている。一昨年は、団体優勝昨年は2位の成績をおさめた。

スキー部

スキー部は、明治の部活動の中でも輝かしい伝統と経歴を残している。数多くのインターハイ、また、関東大会へは連続出場をつづけている。昨年度も部員がみごと、関東大会、インターハイへ出場した。

スキー部の年間スケジュールは、4月末から5月の連休に検定会、7月末にも検定会があり、11月末にスキー部対抗の駅伝大会。シーズンに入って、合宿、1月に検定会、関東大会予選、全国大会予選があり、2月に全中大会、インターハイ、関東大会、東京大会。3月に合宿、南関東ジュニア大会で終わる。

卓球部

部内での縦、横の関係の充実

にも力を入れ、日々練習を重ねている卓球部。練習日程は、週6日の練習のうち、火曜日、金曜日をトレニングの日とし、残りの4日は格技室で台を使った練習をしている。

卓球といえば、時速200キロを超える球を相手にして、飛びぬけた反射神経と瞬発力を保持しなければ一流にならないスポーツという。それだけにそこから得る体力、集中力の向上は計り知れないものがあり、スポーツに対する気合を感じ得ると部員はいう。古豪復活に向けて頑張っている。

柔道部

年間を通して、技の技術の向上と精神力をつけることを目標にしている柔道部。練習は毎日(月、火、木、金)稽古、水はトレニングで厳しい、しかし、部員は練習を厳しいと思っただけではないという。

柔道部員は、この毎日の活動で身につけた体力や精神力をこれからの試合に活用するばかりでなく、日常の生活にも十分に生かしているのだ。

庭球部

昨年の夏、テニス部はみごとに復活した。4年前優勝して以来、低迷をつづけていた六大学附属対抗戦の団体戦で準優勝の好成績をおさめることができた。校庭を使える日が2日しかないため、コートを借り、走って練習をし夏休みも調整にあて、試合に臨んでいる状態である。

バレーボール部

40余年以上の伝統と実績のあるクラブだ。このバレー部を創設し、ここまで支えてきたのが、いまはなき、松枝先生である。バレー部とチーターはきつてもきれない縁であった。

部活動は月曜日から土曜日まで毎日火、水、金、土は体育館で、月、木は外でトレニングをしている。

バスケット部

本年6月1日現在、部員数89人と大世帯である。大多数は中学生が占めているが、このまま全員つづけてほしいものだ。『勇気・根性・体力』をスローガンに、社会に出てからも使える人間養成を目標としている。それだけに部員たちも厳しい練習や合宿を乗り越えるたびに、自分たちが大きくなってゆくことに実感を覚えるという。

バドミントン部

バドミントンはよく女性のやるスポーツだと思われがちだが、ほかのスポーツと比べものにならないほど、ハードで厳しく、とても男らしいスポーツなのである。

だが、残念ながら、近年成績の向上がみられないという。日夜、試合に勝つために練習内容を工夫し練習に励んでいるが、なかなか良い結果が得られないのだ。

国文研究部

国文研究部はここ1、2年、松尾芭蕉の『奥の細道』について研究を重ねている。

4月から8月までは、夏期合宿の計画や下調べを行って、9月からは文化祭での発表に向けて活動を行っているのである。

昭和三十四年卒

ラブリオン株式会社

代表取締役

高橋秀典

〒110台東区浅草橋四一九一七

八六二一七六一

昭和三十八年卒

株式会社ワープ

代表取締役

高橋正脩

〒106港区六本木七五一一

四〇五九三二

昭和三十八年卒

大橋規男

〒333川口市青木三一九一三五
TEL 〇四八二(五二)六〇三二

極東証券株式会社

常務取締役・営業本部長

稲辺利昌

〒103中央区日本橋茅場町一四一七
TEL 〇三(六六六)〇四四一

昭和三十八年卒

公認会計士・税理士

鈴木豊

〒107港区南青山二一四一三
ハイムスズキ

TEL 〇三(四〇二)九五八四

明高安田火災

昭和三十八年卒

稲葉正行

稲葉正行

〒116荒川区東尾久三三十四一二
TEL 八九五一四九八

昭和三十八年卒

関戸淳一

関戸淳一

〒135江東区高橋十四一二〇
TEL 六三一二二〇〇八

現役高―E佐々木崇 父兄

佐々木保隆サービス

佐々木亮一

〒131墨田区立花二二八四一四〇八
TEL 六一七二七九四三

横浜三八会

昭和三十八年卒

成井久雄

昭和三十八年卒

岩間勝雄

昭和三十八年卒

富永信彦

昭和三十八年卒

福島康男

昭和三十八年卒

長山謙

こよみ
神宮館

株式会社 神宮館
〒110 東京都台東区東上野1丁目1番4号
TEL 03-831-1638・FAX 03-834-3332

暦を宣伝媒体用としてご利用を
ご希望の方には資料を
お送りいたします。

昭和三十八年卒

井上進治

井上進治

〒101千代田区神田小川町二二三
TEL 〇三(二九一)一九三八

スポーツなどに比べて地味な部だが、文字の知識を学び、それを部員個人でおし進め、生涯学習として知識を広めていけるようにするのが目標といえる。

英語部

今、時代は国際化時代である。ちまたでは海外旅行や英会話がOLなどの間で大流行、そんな風潮にマッチした部といえよう。何か英語に関することをしたいなあと、思っている生徒たちが集まってできた部である。ふだん英語を学ぶというよりも、慣れ親しむという言葉がピッタリといえる。

マンドリン部

こととして創立38年目を迎える伝統ある部である。高Ⅲ歓送会、新入生歓迎会の演奏でマンドリン部の1年は始まる。

7月の全国高等学校ギター、マンドリンフェスティバルではここ10年、優秀賞をとりつづけており、名門のひとつとされている。そのほかでも関東高等学校マンドリンクラブの集いを部が中心に行っている。

また文化祭での教室公演、そして年1回の定期演奏会で1年間の総締めくくりを行う。

物理部

物理部の日々の活動状況は、文化祭の展示物にこだわらず、オーディオ、ラジオコン、無線、パソコン、マイコンにいたるまで手をのびし、地味ながら自分たちの手で設計し製作したFASシステムも完成させている。また近年部内の民主化にも努めている。

生物部

生物部の活動は、実験をするか、またはどのような実験をするか相談したりすることである。それでも昨年の文化祭においての、「かえるの解剖」は好評を博し、さらにはメダカの3枚おろしと、日頃鍛えたメスさばきを披露した。

化学部

昨年、活動場所である科学実験室が新装オープンして、部員一同気持ちを新たに、部活に励んでいる。

化学部は「安全第一」という言葉を常に念頭におき、実験をしている。実験をとおして、化学を楽しくすることが部の目標である。

写真部

写真は死ぬまでできる趣味である。また職業としても成り立つ、やっつけて損はないのである。コンクールに入賞すれば、お得な賞品。さあ君もLet's take photographyこれが写真部のキャッチフレーズだ。

ふだんの活動は、合宿、撮影会や個人的に写真を撮り、それを暗室で現像して、部員同士で批評しあったり、文化祭や展覧会などに出席することである。

商業研究部

ことしの部員は4名、少数精鋭というか、つぶれるんじゃないか？という心配もある。合宿もなければ、部費もない、いってまじめな部である。活動内容は、簿記を中心に商

業のことについて、研究することである。部の目標は全員が簿記三級合格することだ。これに向かって全員が一丸となって勉強している。

書道部

ことしは15名の部員で出発している。主な活動は、年に2回行われる「書教展」に出品する作品を腕を磨いてよりよいものにすることに重点がおかれている。

もちろん、紫紺祭においても書道部らしい作品を展示できてよかったと部員たちは自負している。活動方針は、なるべく自由な活動をとおして、書に親しみ、そこから自分にとっての書を確立していくことだ。書とは何であるかを考え、技を向上させていくうちに、書の精神を感じていくという考えである。

地理研究部

地理研究部は、通常週3回の部活動(うち1回は日曜日)を行っている。

こと2年間、部の勢いは増すばかりで、文化祭発表のための合宿では、独自の調査方法で結果を導き出すという方法で現地に行かないとわからない事実がわかるようにしている。一昨年は、この方法で「瀬戸大橋」をテーマに活動してきた。合宿で現地調査や巡検などの活動を行い、その結果、文化祭で「大橋立体電飾模型」やパンフレットの配布などを行い、いままでの地理研には見られなかった新しい趣向となつてあらわれた。

歴史研究部

昭和三十八年卒
スナックCAMPU S
松林功典
〒101千代田区神田神保町二一〇
二六一七三三八三

昭和三十八年卒
太平塗料株式会社
代表取締役
松丸芳昭
〒130墨田区大平三二四一八
六二五二二四八

昭和三十八年卒
数矢製材株式会社
常務取締役
村井宏二
〒136東京都江東区新木場一十四一八
〇三(五二二)四七八一

昭和三十八年卒
板橋信明
〒123足立区梅田四一六二二
TEL 〇三(八八九)五五七六

昭和三十八年卒
株式会社代表取締役
関 楯夫
〒103中央区日本橋筋町二二一四
TEL 〇三(六六六)七五九四

昭和三十八年卒
谷口 誼矩
〒112文京区千石一一一九一八
TEL 〇三(九四二)〇九九五

昭和三十八年卒
吉田 秀雄
〒232横浜市中区永田北
三二七二一五〇五
TEL 〇四五(七一)四六〇一

昭和三十八年卒
川口設備研究所
有限会社 川口洋輔
〒253茅ヶ崎市東海岸南六一一三六
TEL 〇四六七(八二)七七二五

昭和三十八年卒

太田 勲

〒130墨田区錦糸三三一一
TEL 〇三(八二九)〇二二四

株式会社 高 勢

代表取締役 高橋 正

通称(忠 資)

〒110東京都台東区根岸四丁目二番十五号
TEL (八七六) 四七七番

昭和38年卒業
紙の加工・仕上 (株) 昭 和
〒135 東京都江東区新大橋3-1-24
電話 03-631-8101
和・洋紙の販売 旭紙業 (株)
〒135 東京都江東区常盤1-10-4
電話 03-633-8251
常務取締役 武田泰男

昭和三十八年卒

上野明宣

石野 隆

神崎 勝

関根賢太郎

服部 明

牧野敏男

山縣伸行

昭和三十八年卒

有限会社

三浦屋

「二年に一会」

三浦昭生

本社 〒170東京都豊島区
東池袋二一五七一

事務所 〒178東京都練馬区
東大泉五一三六一一六

TEL 〇三(九二二)一五七〇
FAX 〇三(八六七)七六八九

高校生24名、中学生31名の55名の大世帯でことしも活動に励んでいる。歴史研究部は、文化祭前を除き、部活動は1週間に3日で、そのうち1日は、毎年度に決められる年間テーマに沿って、顧問の先生によるゼミナールを行っている。このほか、校外見学、夏、春の研修旅行、運動日があり、その研究成果を文化祭や毎年発行している「歴研通信」によって発表している。

美術部

美術部に所属している理由は、いたってかんたんな理由である。「絵を描くのが好きだから」だ。苦勞することはあっても、運動部みたいな辛さはないから、楽しくやっている。要するに、趣味なのである。

活動内容は、油絵を描いている。しかし、油絵というのはパッとできあがるものではないので文化祭でも地味な感じがしてしまうのはいまいましい。

JRC&IAC部

JRC&IAC部という名前を聞いてどのような内容のクラブであるかわかる人はまずいないと思う。JRCとは青少年赤十字の略であり、IACとはインターアクトの略なのだ。

その活動内容は博愛の精神に基づいて、個人、社会、国家のために役立つように奉仕している。

その一部として、緑の羽根募金やギフトボックスなどを行っているのを一度は目にしたことがあると思う。

ボーイスカウト部

ボーイスカウトというものは世間では奉仕活動ばかりやっているように思われがちだが、それはたいへんな誤解で、ボーイスカウトというのは、わが明治の校風のように独立自治をめざしているのである。つまり、自分ひとり、なんでもできるような人物をめざすのである。これは将来必ず自分のためになるであろう。

例えば、キャンプ、これによって、スカウトたちは成長してゆく、つまり、自然の中で生活してゆく能力が向上してゆくのだ。

天文部

天体の観測をする、太陽観測などはとくに根気のいる仕事だという。しかし、その努力は必ず実るのだ。そしてデータの中から宇宙の神秘のたつた一部分でも発見できたときのうれしさはなんともいえないものなのだ。天文部は1年間をとおして、天文知識を深め、さまざまなことを試みる。

囲碁部

部員不足に悩んでいる部のひとつである。ことしはなんと3名、でも部の中では最少だ。昨年は1人で活動したときもあったという。部の影は年々薄くなってゆくとなげいている。それでも部員不足になる3、4年前までは、母校に優勝杯を持ち帰ることもできる部であった。

将棋部

29名の部員で、週3回(月曜、火曜、木曜)の活動には、部員

全員の棋力向上と連帯感をいっそう深めるために頑張っている。遊びのひとつといってしまうまでも、対局となるときちんとやる、けじめを持った授業のひとつだと考えているという。

映画技術研究部

映研の第一の目標は「自主製作の映画完成」なのである。1年をとおしてカメラをまわしている。もちろん、内容もくだらないものではなく、より良い映画をつくることだ。昨年は、とくに近年にない大がかりな活動をした。念願であった自主製作映画「サッカー青春物語」を撮り、対外活動も積極的に行なった。

コンピューター部

この部の大半の部員は、コンピューターにちょっとした興味があるからという、ごく単純な理由で参加しているといえる。活動は、前期と後期に分けることができ、そのうち中心となるのは主に前期で、この時期に文化祭へ向けてのプログラムの企画、製作である。音楽プログラムの作成や自作ゲーム、コンピュター占いの作成などだ。昨年はとくに音楽部門でMIDIを用いた本格的なものにも取り組んだ。

吟詠研究部

吟詠という、ふつうの生徒がふだん関心のないものとおしてつながっている部員同士の交流によって、この部は成り立っている。今年度は6名と少ないが、それなりに頑張っているといえる。

昭和三十八年卒

株式会社 辰巳屋

代表取締役

松本光正

〒111台東区松が谷四丁目二番二号
TEL 〇三(八四三) 三八七五

昭和三十八年卒

とんかつ 浅草 井泉

相馬弘明

〒111台東区浅草一―一六―九
TEL 〇三(八四三) 二九〇一

昭和三十八年卒

日本クリーナー販売株式会社
代表取締役

川北昭男

勤務先 〒143大田区大森北
一―二八―七
〇三(七六八) 二九六〇
自宅 〒336浦和市南浦和
二―二〇―七
〇四八(八八五) 六三一一

昭和三十八年卒

(株)スズキ・エージェンシー

代表取締役

鈴木 実

港区赤坂三―一―二赤坂ビル
五八六―〇三一一

昭和三十八年卒

株式会社エステート

『ダイヤモンド輸入卸』

前田昌彦

〒110台東区上野五―一八―九
TEL (八三二) 二五三〇

昭和三十八年卒

(株)丸愛百貨店

渡辺昭宏

〒135江東区門前仲町
一丁目六番二―号
〇三(六四一) 八三六一

月島総業株式会社

昭和三十二年卒

明治会

知野秀雄

昭和三十三年卒

知野浩二

昭和三十八年卒

知野誠一

〒133東京都江東区東雲二―二―十一
TEL 〇三(五二九) 一二二五

昭和三十八年卒

株式会社

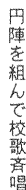
共伸製作所

代表取締役社長 小泉公嗣

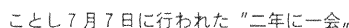
〒130東京都江東区新木場二―一―八
TEL 〇三(五二二) 二二九〇

つとめさせていただきます

その日は、本年が総明会のホ



代表	三浦 昭生
実行委員長	高橋 正侑
実行副委員長	姿 卓
同	鈴木 裕之
同	関戸 淳一
同	服部 紀夫
同	前田 昌彦
同	山縣 伸行
會計	知野 誠一
総務部部长	木下 端夫
企画部部长	上野 明宣
広告部部长	小川 洋一
実行委員	二年に一会全員



昭和39年卒業、同期会

来年度総会との併催ということ
で多くの同期の者を参集させたい
と思っています。

前述の通り何分総明会に
無知な連中が企画しようとして
おりますので、経験多き諸先輩
諸氏の絶大なるご指導、ご協力
を賜わなければなりません。早
非我が学年に力をお貸し下さる
ようお願い申し上げます。

第1回	昭和39年	新宿	菅沼会館
2	41	新宿	アサヒ会館
3	43	日比谷	東商ホール
4	45	上野	タカラホテル
5	47	銀座	日航ホテル
6	49	根岸	高勢
7	51	根岸	高勢
8	53	銀座	銀座東急ホテル
9	55	東京駅	ホテル国際観光
10	57	赤坂	ヒルトンホテル
11	59	日比谷	松本楼
12	61	新宿	新宿三井ビル
13	63	上野	タカラホテル
14	平成2	日比谷	松本楼

ターゲット企業名	窓 口 企 業 名	ターゲット企業名	窓 口 企 業 名
セイコー電子工業	セイコー電子生活協同組合	ニ コ ン	ニコン生活協同組合
博 報 堂	博報堂サービス	三 井 物 産	第一サービス
エ プ ソ ン	エプソン生活協同組合	日 本 ユ ニ シ ス	第一サービス
大 和 銀 行	新 興 開 発	警 察 共 済 組 合	紀 尾 井 共 済
東京海上火災保険	東 開 実 業	田 村 電 機 製 作 所	田 村 興 産
興 和	興 和 労 働 組 合	日 本 バ ル カ ー 工 業	バルカー労働組合
リ コ ー	リコーゼネラルサービス	松 下 通 信 工 業	松下通信総合サービス
キ ヤ ノ ー	キヤノンファミリーカンパニー	富 士 通 ゼ ネ ラ ル	清 和 会
日本バーカーライジング	バーカー生活協同組合	長 瀬 産 業	ナガセ総合サービス
村 田 機 械	旭 光 学 商 事	東 京 ガ ス	東京ガス労働組合
旭 光 学 工 業	共 栄 会 事 務 局	日 産 自 動 車	日 産 コ ー エ ー
井上M・T・Pグループ	愛 厚 産 業		

(平成元年よりスタート)

